北海道遺産だより

NPO 法人北海道遺産協議会
北海道遺産情報紙 Vol.13
2014 年 9 月 8 日発行

「北海道遺産だより Vol.13」をお届けします

北海道の短い夏も終わり、夕暮れ時は肌寒い今日この頃です。新年度もスタートしてあっという間に半年が経ちました。

今号では、通常総会の様子や今年度の助成活動のご紹介、各遺産地域の近況やおでかけ情報など、盛りだくさんの内容をお伝えします。

報告 1　平成 26 年度通常総会を行いました

平成 26 年 6 月 24 日(火)に、NPO 法人北海道遺産協議会平成 26 年度通常総会を開催しました。前半は、平成 25 年度の事業報告と収支決算報告および平成 26 年度の事業計画と収支予算案について審議が行われ議案は全て承認されました。

後半は、昨年度立ち上げた満足度向上プロジェクトチームの検討結果報告が行われ、今後の北海道遺産活動に向けての提言が提出されました。この話題提供を受けて、総会参加者からは地域の近況や様々な意見が出され活発な議論が行われました。

●H25 年度　事業報告（概要）

（1）普及啓発活動事業

・「リーフレットのリニューアル」　・「Web 等での情報発信と管理運営」
・「イベントへの参加・展示ＰＲ」　・「ニュースレターの発行」
・「北海道遺産ＤＶＤ」と「公式ガイドブック」の販売　など

（2）地域活動促進支援事業

・「北海道遺産地域活動支援」　・「北海道遺産交流会議の開催」
・「北海道遺産満足度向上プロジェクトの発足」

（3）保全活用推進事業

・「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」

◇平成 25 年度会員実績

- 個人正会員　７人７口
- 団体正会員　40 法人 54 口
- 個人賛助会員　28 人 31 口
- 団体賛助会費　７法人 26 口

●H26 年度　事業計画（概要）

（1）普及啓発活動事業

・「北海道遺産情報発信アプリの制作」
・「リーフレット増補版の制作」
・「北海道遺産公式サイトのリニューアル」　など

（2）地域活動促進支援事業

・「北海道遺産地域活動支援」
・「北海道遺産交流会議の開催」
・「北海道遺産満足度向上 PT：ﾊﾟｲﾛｯﾄﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの実施」

（3）保全活用推進事業

・「ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト」



▲平成 26 年度通常総会　当日の様子

報告 2　平成 26 年度助成事業活動を決定しました

イオン北海道株式会社、マックスバリュ北海道株式会社、株式会社伊藤園からの寄付金を各北海道遺産地域団体の活動に活かしてもらおうと、今年度も助成活動募集を行い多くのご応募をいただきましたが、厳正な審査の結果、下記の活動に助成を行うことになりました。皆様の事業の一助となり、ますます活動が発展することを願っています。

なお、11 月に開催予定の北海道遺産交流会議で、一部の助成事業の活動報告をしていただく予定です。

「ほっかいどう遺産WAON」助成活動一覧　※活動の名称（団体名称 / 地域）

- 食育出前授業による天塩鮭の付加価値向上推進事業（天塩町観光協会 / 天塩町）
- 石狩川水遊び体験活動（石狩川下覧櫂 / 石狩川石狩川流域市町村（砂川・雨竜・奈井江））
- 青少年活動応援サポーター・ＰＲ事業（第 746 なよろ煮込みジンギス艦隊 / 名寄市）
- 身近な北海道遺産を【知る】【見る】【食べる】体験ツアー
  （福山醸造㈱（雪印メグミルク・サッポロビールと共同で申請）/ 札幌市）
- 企画展「ピアソン記念館 100 年の歴史」&「記念講演とシンポジウム」の実施
  （特定非営利法人 ピアソン会 / 北見市）
- 北海道和種馬災害救助デモンストレーション事業～どさんこ馬で緊急災害救助～
  （北海道和種馬保存協会 / 道南（函館））
- 赤平炭鉱遺産ガイドパンフレット作成と石炭産業のアーカイブ DVD 作成
  （赤平コミュニティガイドクラブ TANtan/ 赤平市）
- 北海道遺産森林鉄道蒸気機関車雨宮 21 号と森林鉄道の歴史伝承・ＰＲプロジェクト
  （夢里塾（遠軽町丸瀬布）/ 遠軽町）
- フットパス手法を活用した新たなツーリズムによる交流人口の拡大と地域の活性化
  （一般社団法人積丹やん集小道協議会（積丹町と連携）/ 積丹町）
- 北海道遺産を楽しみながら学ぶ、謎解きゲーム（株式会社 coicoi/ 札幌市）
- アイヌ民族博物館開館３０周年記念特別展「アイヌ民族と歩んだ松浦武四郎」（仮称）
  （一般財団法人アイヌ民族博物館 / 白老町）
- 「歌才ブナ林」のキノコごよみ作成のためのキノコ講座及び調査（黒松内町ブナセンター / 黒松内町）
- 地域の宝物・北海幹線用水路のみどりを育む活動（北海土地改良区 / 赤平市～南幌町）
- ニッカウヰスキー余市蒸留所 PR 活動（余市観光協会 / 余市町）

伊藤園「お茶で北海道を美しく」キャンペーン寄付活動一覧　※活動の名称（団体名称 / 地域）

- 摩周湖・屈斜路湖環境にやさしい周遊観光 ＢＤＦバスとレンタサイクルの交通モード・ミックス事業
  （弟子屈町地域公共交通活性化協議会 / 弟子屈町）
- 自然の循環と北海道遺産を学ぶ（株式会社ファウンド / 京極町）
- 螺湾ブキ自生地環境整備活動（NPO 法人あしょろ観光協会 / 足寄町）
- ラムサール条約登録湿地９周年記念イベント「晩秋の自然を楽しむ音楽と語り」
  （野付半島ネイチャークラブ / 別海町）
- （仮称）石狩の環境資源マップづくり（石狩浜海浜植物保護センター / 石狩市）

報告３　寄付金への感謝状贈呈式を行いました



▲左から、株式会社伊藤園北海道地区営業部長　唐沢様、ＮＰＯ法人北海道遺産協議会　石森会長、
イオン北海道株式会社代表取締役社長　星野様、
マックスバリュ北海道株式会社代表取締役社長　出戸様

平成２６年８月５日（火）、北海道本庁舎１階共用会議室にて、イオン北海道・マックスバリュ北海道「ほっかいどう遺産 WAON」と、伊藤園「お茶で北海道を美しく」キャンペーンに係る感謝状贈呈式を行いました。

贈呈式では、イオン北海道株式会社代表取締役社長・星野様、マックスバリュ北海道株式会社代表取締役社長・出戸様、株式会社伊藤園北海道地区営業部長・唐沢様から、今後の北海道遺産活動への期待や、遺産地域と交流しながらの社会貢献活動の構想についてなど、これからの北海道遺産活動へのエールの言葉をいただきました。

紹介１　土の博物館「土の館」が機械遺産に認定されました！

土の博物館「土の館」が、一般社団法人日本機械学会の機械遺産に認定されました。

機械遺産は、歴史に残る機械技術関連遺産を保存し文化的遺産として次世代に伝えることを目的に、主として機械技術に関わる歴史的遺産を認定するものです。

2007 年～現在までに 69 件が認定され、北海道では土の館を含めて４件が認定されています。

機械遺産に認定されたことにより、この夏の来館者数も増加傾向とのことですが、北海道の農業と土の歴史を実物の土壌標本を眺めながら学べる「土の館」へ、ぜひ皆様足をお運びください。



開館時間：　９：００～１６：００
利用料：　無料
住所：　空知郡上富良野町西２線北 25 号
TEL：　0167-45-3055
利用できない日：　土，日，祝日および
スガノ農機（株）の休業日（7、８月は無休）

紹介２　NHK 連続テレビ小説「マッサン」が９月から放送開始

ニッカウヰスキー余市蒸溜所が物語の舞台のひとつになる、NHK 連続テレビ小説「マッサン」が、９月２９日（月）から放送開始となります。

ウイスキーづくりに生涯を捧げた日本のウイスキーの父・“マッサン”こと、ニッカウヰスキー創業者・竹鶴政孝と、その夢を支え続けた妻・リタをモデルにした物語です。

ニッカウヰスキーゆかりの地・余市町では、主役の２人も来町して撮影ロケが行われ、町民の皆さんもエキストラとして参加しました。参加したシーンはドラマの初回に放送予定とのことです。ぜひご覧ください。

●放送予定：平成 26 年９月 29 日（月）～平成 27 年３月 28 日（土）
●放送時間：毎週月曜日～土曜日　８：00～　他

紹介３ ― サッポロ生ビール黒ラベル「北海道遺産の旅缶」が発売！



2014 年９月９日（火）より、北海道内イオングループ限定でサッポロ生ビール黒ラベル「北海道遺産の旅缶」が発売されます。北海道の宝物である「北海道遺産」の保全・PR とともに、「イランカラプテ」という言葉とアイヌ文化が道内外の多くの方々に親しまれていくことを願ってつくられました。

パッケージには「イランカラプテキャンペーン」と「北海道遺産」のロゴマークを配し、道内４つの北海道遺産（「札幌苗穂地区の工場・記念館群」、「五稜郭と箱館戦争の遺構」、「ジンギスカン」、「北海道の馬文化」）がモチーフのイラスト入りで、より北海道遺産に親しみを感じるデザインです。

ぜひこの機会に黒ラベルを飲んで、北海道を盛り上げましょう！

おでかけガイド ― 北海道遺産・ムラの宝物関連イベントなど

ピアソン記念館 100 年記念イベント（北見市）

①企画展「ピアソン邸　100 年の歴史」

ピアソン邸が建設されてから、今年で満 100 年を迎えるにあたり、これを記念して 100 年の歴史を振り返る企画展を開催します。

- 開催期間：11 月８日（土）～11 月 24 日（月・祝）
- 時　　間：10：00～17：00
- 場　　所：北網圏北見文化センター美術展示室

②100 年記念講演＆パネルディスカッション

企画展に合わせて記念講演とパネルディスカッションを開催します。

記念講演は、ピアソン邸の設計者・W.M.ヴォーリズが創設した近江兄弟社の嘱託研究員・芹野氏。パネルディスカッションは、「次世代に残す文化遺産として」をテーマに開催します。

- 開催日時：11 月８日（土）13：00～
- 場　　所：北網圏北見文化センター講座室

２つのイベント共通して、
- 入 場 料：無料
- お問合せ：ピアソン記念館 100 年記念事業実行委員会
（北見市教育委員会文化財課　0157-23-6742

事務局だより

事務局から ― H26 年度・今後の活動スケジュール

今年も北海道遺産交流会議を１１月に開催予定です。今年度助成事業を実施した団体数件に活動報告をいただくほか、基調講演やパネルディスカッションなども予定しています。詳細が決まり次第ご案内いたしますが、遺産地域の皆様と交流する機会にしたいと思いますので皆様どうぞご予定ください。

★編集後記★

総会の事業計画にもありましたが、今年度はウェブサイトの改修やアプリの制作も本格的に進めていきます。より一層地域の皆様の情報を発信していきたいと思っていますので、活動の様子をお知らせいただいたり、事務局の近くに来られた時にはぜひお立ち寄りいただき話を聞かせてください！

NPO 法人 北海道遺産協議会
〒060－0041
北海道札幌市中央区大通東２丁目３番地１ 第３６桂和ビル７階（札幌市営交通地下鉄東西線バスセンター前駅・５番出口直結）
電　話：011－218－2858　FAX：011－232－4918　E-mail：info@hokkaidoisan.org